

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 11 月 11 日(2022.11.11)

【公開番号】特開 2021-23341(P2021-23341A)
 【公開日】令和 3 年 2 月 22 日(2021.2.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-009
 【出願番号】特願 2019-140526(P2019-140526)
 【国際特許分類】
 A 63 F 5/04(2006.01)
 【F I】
 A 63 F 5/04 651

10

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 11 月 2 日(2022.11.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

20

1 遊技で完結する演出である単発演出を有しており、
複数遊技に亘って継続する演出である連続演出を有しており、
特定のオブジェクトが所定色で表示可能であり、
特定のオブジェクトが特定色で表示可能であり、
特定のオブジェクトが所定色で表示される場合と、特定のオブジェクトが特定色で表示される場合と、に応じて特典付与期待度が異なることを示唆する特定演出を有しており、
動画像に合わせて或る表示領域に表示されるキャラクタの台詞に関する文字列（以下、「動画像に合わせて或る表示領域に表示されるキャラクタの台詞に関する文字列」を「台詞文字」と称す）が表示され得る複数の演出を有しており、
複数の連続演出のうち最初の停止操作に基づいて台詞文字が表示される連続演出の割合の方が、複数の単発演出のうち最初の停止操作に基づいて台詞文字が表示される単発演出の割合よりも、多くなるよう構成されており、
前記特定演出のうち特定のオブジェクトが所定色で表示される場合と、前記複数の演出のうち台詞文字が略所定色で表示される場合と、を比較すると、前記複数の演出のうち台詞文字が略所定色で表示される場合の方が特典付与期待度が高くなるよう構成されており、
前記複数の演出のうち、スタートスイッチの操作に基づいて台詞文字が表示される割合と、最終停止操作に基づいて台詞文字が表示される割合とを比較すると、最終停止操作に基づいて台詞文字が表示される割合の方が多くなるよう構成されている遊技機。

30

40

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0029
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0029】

本発明は、以下のような特徴を備えている。なお、以下の特徴構成の説明では、後述する実施形態において対応する構成の一例を括弧書きで示している。
 本発明に係る遊技機は、1 遊技で完結する演出である単発演出を有しており、複数遊技に亘って継続する演出である連続演出を有しており、特定のオブジェクトが所定色で表示可

50

能であり、特定のオブジェクトが特定色で表示可能であり、特定のオブジェクトが所定色で表示される場合と、特定のオブジェクトが特定色で表示される場合と、に応じて特典付与期待度が異なることを示唆する特定演出を有しており、動画像に合わせて或る表示領域に表示されるキャラクタの台詞に関する文字列（以下、「動画像に合わせて或る表示領域に表示されるキャラクタの台詞に関する文字列」を「台詞文字」と称す）が表示され得る複数の演出を有しており、複数の連続演出のうち最初の停止操作に基づいて台詞文字が表示される連続演出の割合の方が、複数の単発演出のうち最初の停止操作に基づいて台詞文字が表示される単発演出の割合よりも、多くなるよう構成されており、前記特定演出のうち特定のオブジェクトが所定色で表示される場合と、前記複数の演出のうち台詞文字が略所定色で表示される場合と、を比較すると、前記複数の演出のうち台詞文字が略所定色で表示される場合の方が特典付与期待度が高くなるよう構成されており、前記複数の演出のうち、スタートスイッチの操作に基づいて台詞文字が表示される割合と、最終停止操作に基づいて台詞文字が表示される割合とを比較すると、最終停止操作に基づいて台詞文字が表示される割合の方が多くなるよう構成されている。

10

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３０

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【００３０】

参考態様の遊技機は、画像表示部を備えた遊技機（例えば、スロットマシン）であって、前記画像表示部には、第１表示（例えば、最終場面表示ＲＤ１）が表示される場合を有し、第１表示は、所定の遊技結果を示唆する表示であり、第１表示が遊技者にとって不利な遊技結果を示唆した場合は、当該第１表示の視認性が低下する場合があります、その場合でも前記画像表示部の所定の領域は視認性が低下しないことを特徴とする。

30

40

50